FUYO LEASE GROUP

2019年7月26日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
代表取締役社長　辻田　泰徳
東京都千代田区神田三崎町3-3-23

株式会社Synspectiveとの資本業務協定締結のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長　辻田泰徳、以下「芙蓉リース」)は、株式会社Synspective(東京都中央区、代表取締役社長 新井元行、以下「Synspective社」)が実施する第三者割当増資の引受を行い、同社の小型SAR（合成開口レーダ）衛星を活用した地球観測サービスの事業展開をサポートする資本業務協定を締結しました。

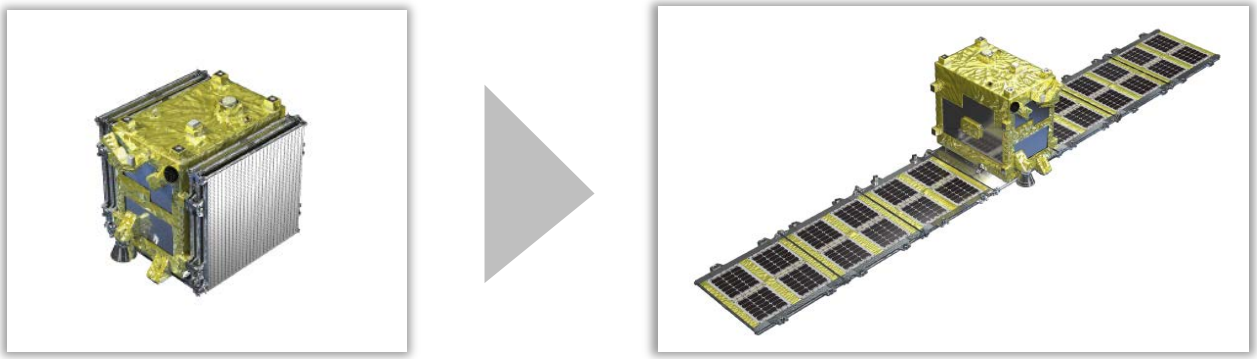
Synspective社は、衛星による観測データを活用したワンストップソリューション事業を行う会社です。内閣府が主催する国家プロジェクト「革新的研究開発推進プログラム（ImPACT)」における小型SAR衛星の開発プロジェクトの成果を事業化すべく2018年に設立されました。
SAR衛星は自ら電波を発することで地表形状や高度・変位を測定する衛星で、太陽光の反射を観測する光学式の衛星と異なり、曇天や夜間でも地上を観測できる点で優れています。

Synspective社は、独自の「折り畳み可能な受動平面展開アンテナ方式」を採用することで、低コスト・小型のSAR衛星を実現しています。今後、自社のSAR衛星を数多く打上げることで高頻度観測を可能とする衛星群を構築し、その衛星から得られるデータの販売、及びそれらを利用した政府・企業向けソリューションの提供を目指しております。

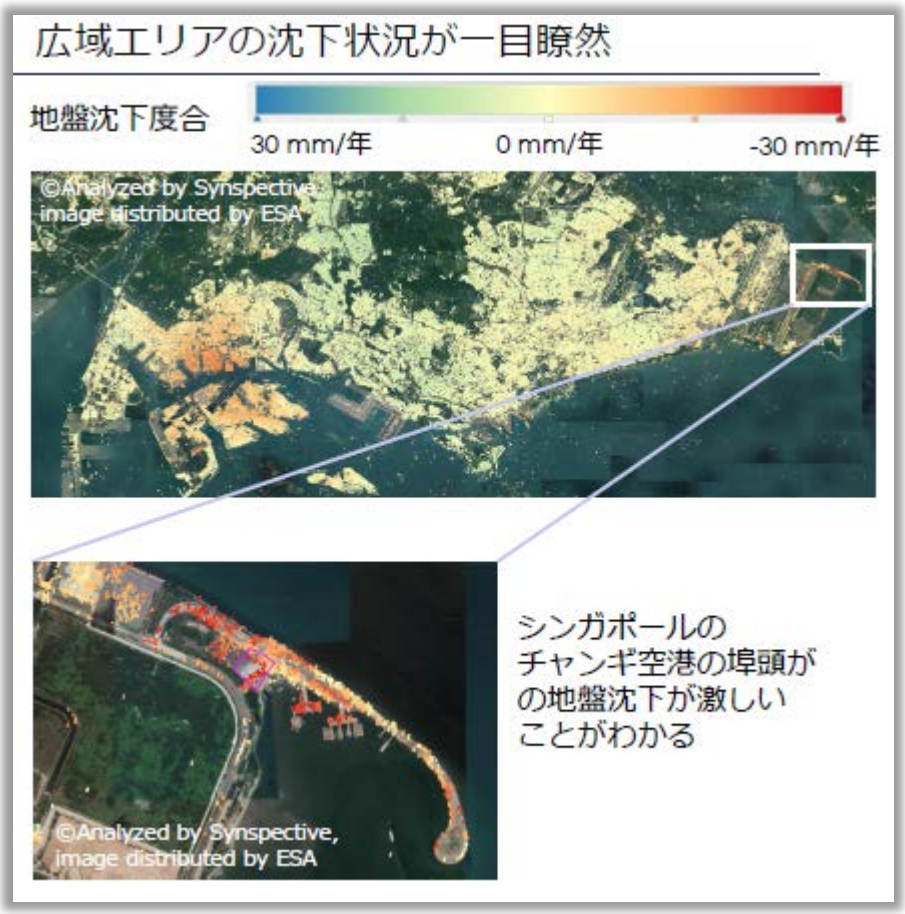
芙蓉リースグループは、2017年にスタートした中期経営計画「Frontier Expansion 2021」において戦略分野の一つとして「新領域」を置き、本件のような新規事業やビジネス領域の拡大を通して、収益力の向上及び持続的な成長への基盤作りを目指しております。
Synspective社との提携を通し、当社グループの顧客におけるデータ活用をサポートしていくとともに、Synspective社の展開するデータソリューションのノウハウを芙蓉リースグループの様々なサービスメニューと組み合わせることで、付加価値の高い新たなサービスの提供を目指します。

芙蓉リースグループはこのような活動を通して顧客の課題を解決しつつ、社会と企業との共有価値を高め、豊かで持続可能な社会づくりに貢献していきます。

＜開発中の衛星イメージ（展開前後）＞



＜ソリューション例：シンガポールにおける地盤沈下／地形変化の抽出＞



以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）斎藤・渡邊
電話番号　０３（５２７５）８８９１　　ＵＲＬ　　https://www.fgl.co.jp/